

表 気候変動関連の上場規則改正原案の概要

1. ガバナンス	・ 気候変動関連のリスクと機会を監視・管理するためのガバナンスプロセスと手続き
2. 戦略	・ 企業が直面する気候変動関連の機会やリスク、それらが業務運営、モデルや戦略に与える影響 ・ 特定された気候変動関連リスクと機会に対する企業の対応 ・ 気候レジリエンス（気候変動への対応力） 気候変動関連の進行や不確実性に対する企業戦略（モデル含む）や運営 企業状況に見合った気候変動関連シナリオ分析と評価 ・ 現在および予期される気候変動関連リスクによる財務影響 企業の財政状況、財務実績やキャッシュフローなど
3. リスク管理	・ 気候変動関連のリスクと機会を特定、評価、管理するための企業のプロセス
4. 指標と目標	・ 温室効果ガスの排出量（スコープ1、スコープ2、スコープ3） ・ 業界横断的な指標 移行/物理的リスクに対する脆弱性や気候変動関連の機会に沿った資産や事業活動の割合 気候変動関連リスクや機会に対する資本支出額など ・ 企業が炭素排出の価格付けを行っている場合には、その価格と経営方針決定における活用法 ・ 気候変動関連検討事項が給与方針に与える影響 ・ 国際的なESGレポートの枠組みにおける業務関連の開示規定の検討

（出所）HKEXが公表するコンサルテーション・ペーパーをもとにジェトロ作成